



会津教育事務所社会教育だより

VOL. 12 令和5年8月7日発行

【TEL 0242-29-5488 FAX 0242-29-5494】



読書活動から子どもたちの笑顔と感動を～読書活動支援者育成事業会津地区研修会～

7月4日(火) 会津若松市文化センターにおいて「読書活動支援者育成事業会津地区研修会」を開催し、図書ボランティア、図書館関係者等49名が参加しました。

はじめに、相馬市観光協会 遠藤美貴子様、震災語り部五十嵐ひで子様から、演題「震災を経験して～自分の命は自分で守る～」として東日本大震災の体験について講話をいただきました。

続いて、絵本よみきかせセラピスト 山田昭彦様から「絵本よみきかせのコツ講座～『自分らしさで届けよう！』笑顔あふれる絵本のよみきかせ～」と題して講義とよみきかせのコツと効果についての演習をしていただきました。

参加者アンケートから、「大変充実した研修会であった」との声が多く聞かれました。今後、各図書館や学校等での読書活動推進を期待しております。



学校や図書館等で読書活動に取り組む方々



東日本大震災の体験伝える五十嵐氏

絵本をよみきかせする山田氏

金山町中央公民館訪問～地域の人材や自然を活かした魅力ある事業～

7月11日(火)に金山町中央公民館を訪問しました。社会教育関係事業の重点目標を6つ掲げ町の計画と住民のニーズを捉えながら事業を推進していました。特に、青少年教育では山っこスクール(野外体験事業)やこめらっこ広場(地域の文化や自然に触れ、郷土愛を深める事業)、芸術・文化分野ではものづくり講座(マタタビ細工のものづくり体験等)、金山町ならではの自然体験活動や世代間の関わりを深める事業が充実しています。



今後の公民館運営について協議する様子

昨年、コロナ禍のため公民館事業をやむを得ず中止、縮小した際に、高齢者の方が公民館職員へ「みんなに会いたい」とおっしゃったそうです。公民館の各事業には、心に潤いや幸せを感じる効果がありますし、また活動を通して仲間づくりにもつながっています。金山町の各公民館が住民にとってとても身近で、大切な存在であることが感じられるエピソードでした。

家庭教育支援者地区別研修(会津地区)～親子の心のかけ橋づくりのために～

7月27日(木)に北会津公民館で「家庭教育支援者地区別研修」を開催しました。当日は、家庭教育に携わっている方、学校関係者、一般参加者等36名が参加しました。

はじめに、NPO法人こおりやま子ども若者ネットワーク副理事長 大岡 桂子様から「不登校を支援する」～命を見つめて～と題して、不登校児童生徒に対する周りの大人の受け止め方や子どもとの関わりについて、講演をいただきました。

続いて、親業シニアインストラクター 大屋 弘子様から「親子が互いに育ち合う関係づくりを」～心と言葉のキャッチボール～と題し、講演及び演習をしていただきました。「子ども」そして「親自身」も大切にする関係づくりには「認めること」や「ありがとう」の言葉を惜しまないこと、親から子どもに届く話し方等について実践的に学ぶことができる内容でした。

今後、各家庭で「親子の心のかけ橋づくり」や家庭教育支援につながる学びの多い研修会となりました。



不登校支援について話す大岡氏

親子の関わりについて話す大屋氏